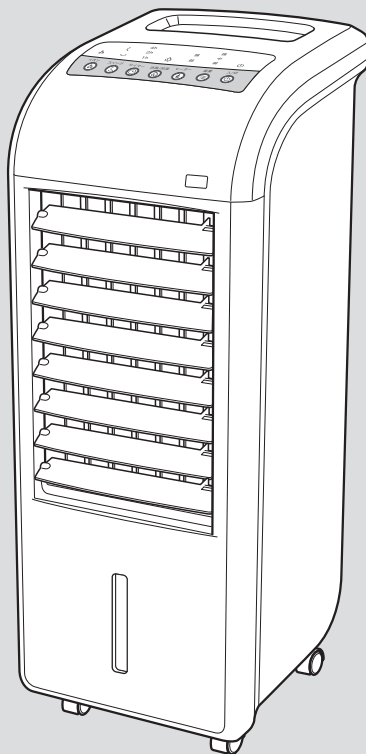


# スリム温冷風扇 ヒート&クール

## ZHC-1200

# 取扱説明書



本商品は日本国内専用です。

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

## 目次

### はじめに

- 安全上のご注意 …… 1~2
- 各部のなまえ …… 3
- パッケージ内容・別売品・仕様 …… 4

### ご使用前に

- リモコンについて …… 5
- キャスターを取り付ける …… 6
- 設置について …… 6

### ご使用方法

- 運転する(送風モード) …… 7
- 風量を切り替える(送風モード) …… 7
- 停止する …… 7
- 水タンクに水を入れる …… 8
- 保冷タンクや氷を使う …… 8
- 運転する(涼風モード) …… 9
- 運転する(温風モード) …… 9
- ヒーターを調節する(温風モード) …… 9
- 運転する(温風加湿モード) …… 10
- 風の向きを変える(スイング) …… 10
- オフタイマーを使う …… 11
- イオン運転する …… 11

### 点検・修理

- お手入れ保管方法 …… 12~13
- 故障かな?と思ったら …… 13
- 保証・サービス …… 14
- 保証書 …… 裏表紙

# はじめに

## 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよく読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「**⚠** 警告」と「**⚠** 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

<b>⚠ 警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
<b>⚠ 注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠** 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「**⚠** 警告」・「**⚠** 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「**⚠**」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

### **⚠ 警告**

**修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。**

- ・火災、感電、けがの原因になります。

**子供を近づけないでください。子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。**

- ・けがや事故の原因になります。

**使用しない場合は、安全な場所に保管してください。**

- ・落下、衝撃、水ぬれをする場所は避け、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・高温になる場所や湿気やほこりの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

**屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。**

- ・絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

**電源は必ず家庭用100V電源 (容量15A-1500W) を単独で使用してください。**

- ・異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- ・タコ足配線はヒューズ切れまたは火災の原因になります。

**長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また水タンクの水は捨ててください。**

- ・絶縁劣化による火災、感電の原因になります。
- ・水が入ったまま放置すると雑菌やカビが繁殖し異臭や故障、健康を害する原因になります。

**高所や足下が不安定な場所では使用しないでください。**

- ・転倒などによりケガや事故の原因になります。振動のない水平な場所で使用してください。

**パソコン、精密機器の近くで使用しないでください。**

- ・機器の故障を引き起こす場合があります。

**本体やリモコンを水につけたり、水をかけての丸洗いは絶対にしないでください。**

- ・感電、火災、故障の原因になります。

**薬品などの周囲では使用しないでください。**

- ・本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

**引火性のもの (殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー) の近くで使用しないでください。**

**また、送風口に向かって吹きかけないでください。**

- ・爆発や火災の原因になります。

**電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。**

- ・電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、損傷したものは使用しないでください。
- ・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- ・電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 警告

送風口にピンや針金などの異物を入れたり、ふさがないでください。

- ・けがや事故の原因になります。
- ・加熱による本体の変形、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- ・本体の変形によるショート・発火の原因になります。

製品の上に物を置いたりしないでください。

- ・転倒によるケガや故障の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。

- ・健康を害する原因になります。

水タンクの中に水道水、氷、付属の保冷タンク以外のものを入れないでください。温水や化学薬品、芳香剤などを入れないでください。

- ・故障の原因になります。

お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤を使用しないでください。

- ・有毒物質が発生する原因になります。

使用中、本体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

- ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。

## 注意

使用前に、本体や各部品に損傷がないか点検してください。また、誤って落としたり、ぶつけたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

- ・ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

お手入れは定期的に行ってください。

- ・「お手入れと保管方法」にしたがってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

水タンクの水は、2～3日を目安に新しい水と入れ替えてください。

- ・水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

水タンクに水を入れすぎないでください。また、本体を移動する際は、水タンクから水を抜いてください。

- ・水がこぼれたり、感電や故障の原因になります。

衣類などの乾燥には使わないでください。

- ・衣類が本体に覆われたりして、故障や事故、火災の原因になります。

壁や家具の近くで使わないでください。

- ・熱で壁や家具または本体が変形、変色したり火災の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

- ・故障の原因になります。

フィルターを外した状態で運転しないでください。

- ・本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

保冷剤を使うときは、必ず水タンクに水を入れてください。

- ・本体に結露が起きて床をぬらすおそれがあり、感電や故障の原因になります。

水タンクの給水の際は、満水ライン「MAX」以上に水を入れないでください。

- ・水がこぼれたり、感電や故障の原因になります。

犬や猫などのペットの冷暖房用には使わない

- ・ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災・故障の原因になります。

使用中、使用直後はルーバー（吹き出し口）など熱い部分には触れない

- ・やけどの原因になります。

ルーバーや送風口に指を近づけたり、挟んだりしないでください

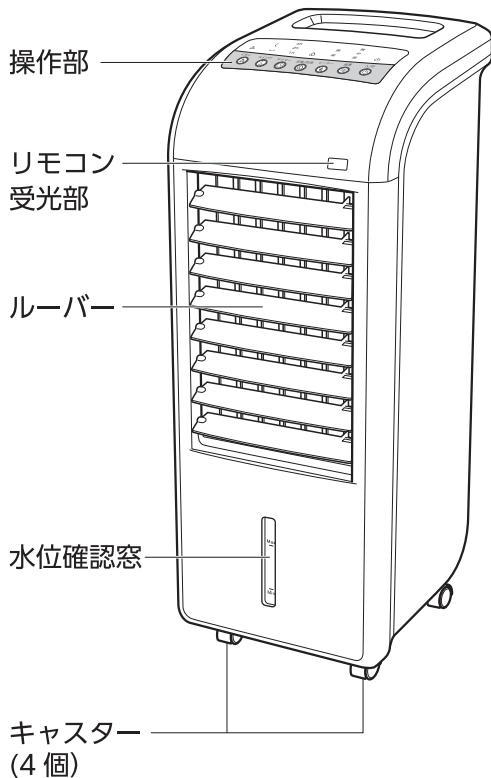
- ・ケガややけどの原因になります。

お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでゼンケンサービス係までお問い合わせください。

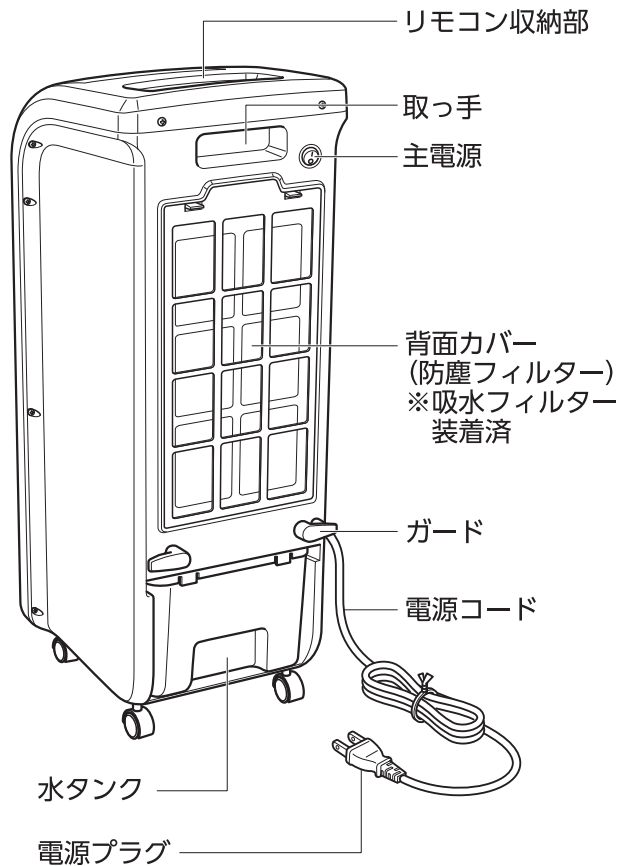
# はじめに

## 各部のなまえ

### 正面

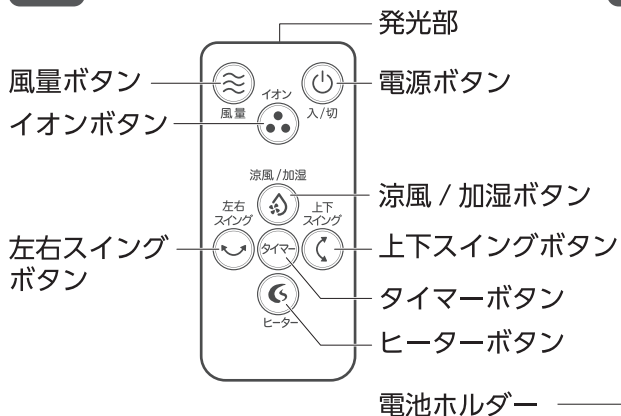


### 背面



### リモコン

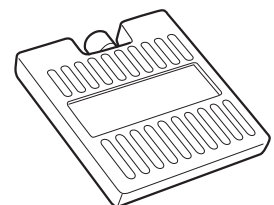
#### 表面



#### 裏面



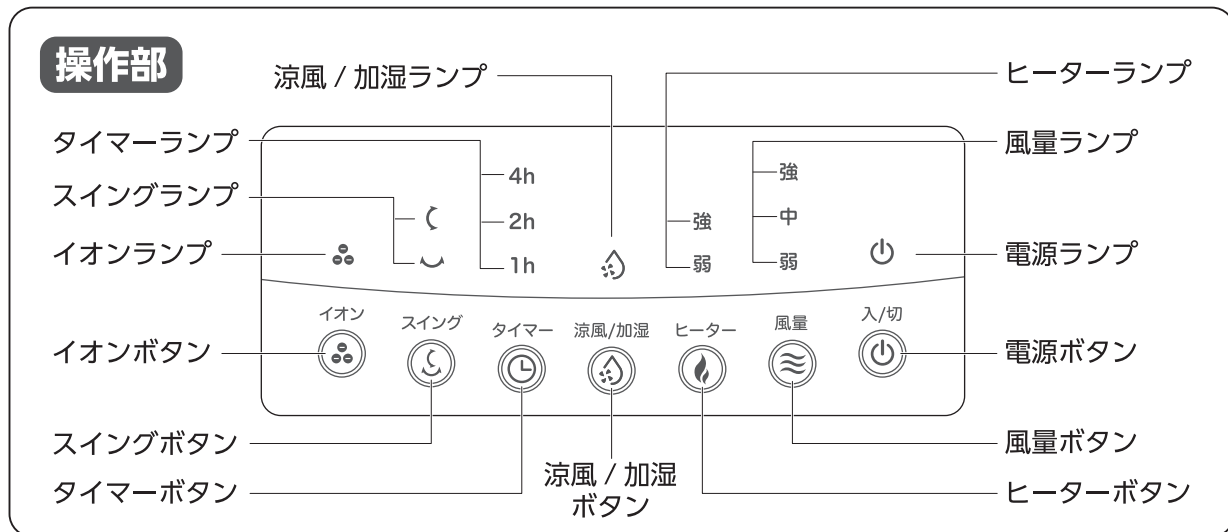
### 付属品



#### 保冷タンク

保冷タンクの品質表示	
タンク材質	ポリエチレン
内容物	水52% 塩基30% アクリル酸18%

## 各部のなまえ



## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、ゼンケンサービス係までご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	リモコン (CR2025電池内蔵)	1
保冷タンク	1	取扱説明書 (保証書付き) 本書	1
キャスター	4		

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、ゼンケンサービス係までご連絡ください。

部品名	個数	販売価格 (税別)
吸水フィルター	1	1,500 円
保冷タンク	1	800 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。  
 ※ 販売価格は予告なく変更する場合があります。

## 仕様

サイズ	幅25×奥行29×高さ67cm		
本体重量	約6.4 kg (キャスター含む)	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	涼風モード時/50W、ヒーター「強」使用時/1200W・「弱」使用時/900W		
風量	強・中・弱 (3段階切替) ※ヒーター使用時は1段階		
ヒーター調節	強・弱 (2段階切替)	加湿量	約300ml/h
オフタイマー	1~7時間 (1時間単位)	コード長	1.75 m
水タンク容量	最大4.5 L	材質	ABS樹脂
1時間あたりの電気代	約1.35円 (涼風モード運転時)、約32.4円 (ヒーター「強」連続運転時)		
モード	送風モード、涼風モード、温風モード、温風加湿モード、タイマーモード、イオンモード		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。  
 ※ 加湿量は室内の温度や湿度等の条件によって変わります。  
 ※ 1時間あたりの電気料金は 1kW あたり 27 円として計算しています。

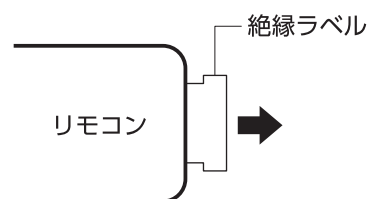
# ご使用の前に

## リモコンについて

### ■ リモコン電池

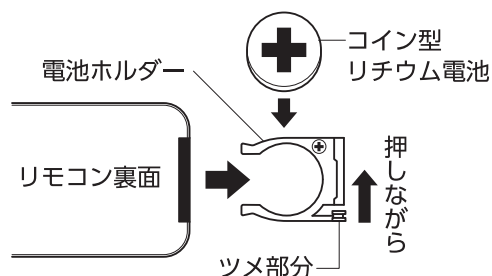
工場出荷の段階でボタン電池がセットされています。  
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※ 製品に最初から付属しているボタン電池はテスト用のため、  
新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。



### ■ 電池の交換 ..... ※ ボタン電池：CR2025

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② ボタン電池の【+】を上にしてセットした後、電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで、しっかりとめ込んでください。



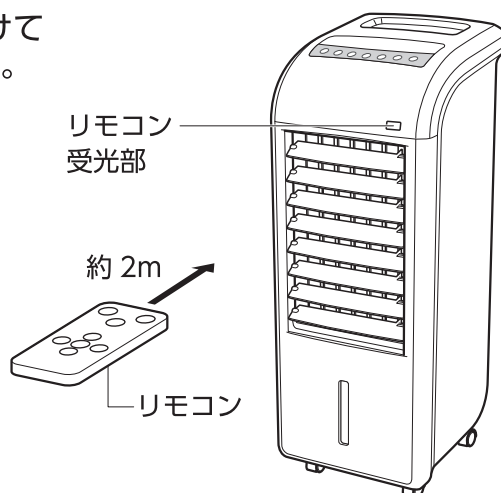
## ⚠ 注意

- 電池のプラスとマイナスは十分注意してセットしてください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食によりリモコンを傷めることがあります。
- 電池が液漏れを起こした場合は、すぐに取り出し、液を素手でさわらないでください。
  - ・ 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。
- 電池を火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解や加熱したりすることは危険ですので、絶対にしないでください。
- 電池が消耗すると操作できる距離が短くなりますので、早めに新しい電池 (CR2025) に交換してください。
- 乳幼児の届くところにリモコンを置かないでください。
  - ・ 電池誤飲の原因となります。

### ■ 操作範囲

リモコンの発光部を本体のリモコン受光部に向けて使用してください。操作距離は直線で約2mです。

※ テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



## キャスターを取り付ける



### 警告

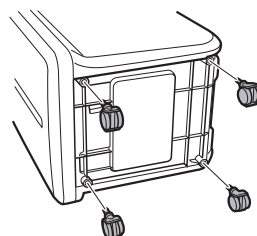
必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。



### 注意

キャスターは必ず取り付けてください。取り付けしないで使用すると本体が不安定になり、転倒したり、床を傷つけたりする原因になります。

- ① 毛布などの上に本体を寝かせます。
- ② 本体底面の取付穴にキャスターをしっかりと押し込みます。
- ③ 本体を起こします。



## 設置について



### 注意

- 本製品はコンプレッサーで冷却するエアコンとは異なり、水の気化熱を利用して運転するため、部屋全体を冷やすことはできません。
- 斜面や不安定な場所に設置すると転倒などの原因になりますので、必ず水平で安定している場所に設置してください。

本体背面のフィルターが壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。

- 換気のよい窓やドアの近く、直射日光の当たらない場所で使用するとより効果的です。
- エアコンの補助冷房として使用すると、効率よく部屋全体を冷房することができます。

- ※ 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- ※ 家具や電化製品、壁などに直接風が当たるような場所に設置しないでください。
- ※ テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置すると、雑音などが入る場合がありますので、十分に距離をとって設置してください。
- ※ 初めてご使用の際は、使い初めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

### ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面に設置して本体またはリモコンの「電源ボタン」を押してください。

### ■ 安全装置

ヒーター使用時に温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

- ※ 異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

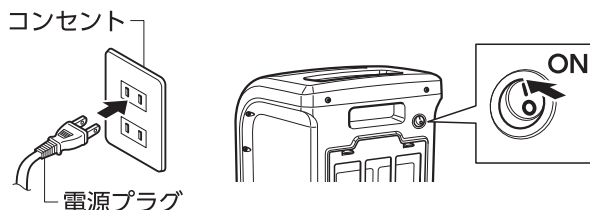
# ご使用方法

## 運転する(送風モード)

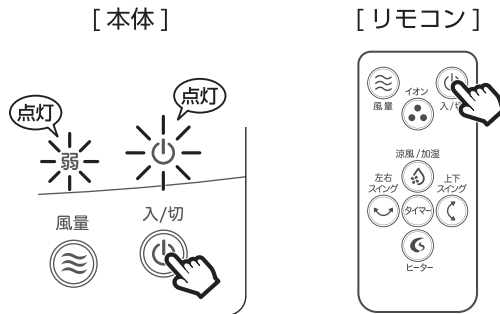
### 注意

- 電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 運転中にフィルターを取り外さないでください。
- 運転中に水タンクを外したり、給水したり、保冷タンクを入れたりしないでください。
- 背面カバーが外れているとインターロックが作動し、電源が入りません。
- 乳幼児やお年寄り、体調のすぐれない方に長時間風を当てないでください。
- 健康を害する恐れがあります。
- おやすみ前のご使用は、タイマーやスイング機能を使用して、直接風が長時間当たらないようにしてください。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。  
主電源を入れると“ピッ”と電子音が鳴ります。  
※ 数秒間モーター音がしますが異常ではありません。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴って、風量「弱」で運転を開始します。  
同時に『電源』ランプと、『風量』ランプ「弱」が点灯します。

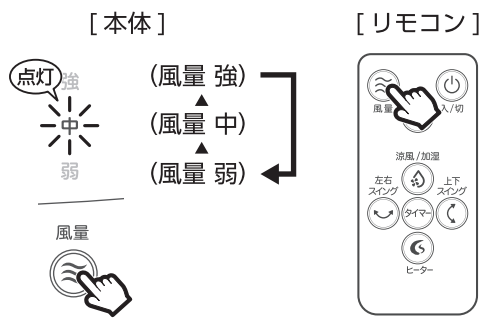


## 風量を切り替える(送風モード)

風量は「弱」「中」「強」の3段階に設定できます。

送風運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

『風量』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、「弱」「中」「強」の順に風量が切り替わります。



## 停止する

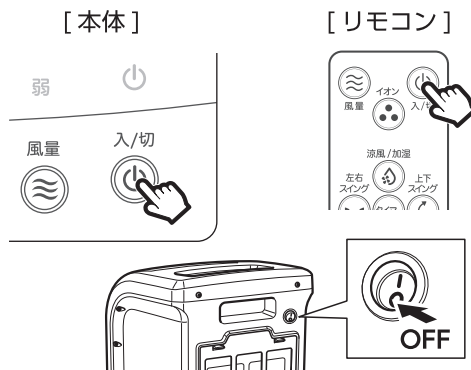
- ① 運転中に『電源』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴り、運転が停止します。  
同時に本体の全てのランプが消灯します。

温風モード中に『電源』を切るとヒーターの冷却のため約60秒間の送風運転を行ったあと停止します。

※ 運転開始から完全に停止するまでの間、絶対にルーバーには触れないでください。指を挟みケガをするおそれがあります。

- ② 主電源を切ります。

※ ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。





## 水タンクに水を入れる(涼風モード／温風加湿モードのみ)



### 警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。



### 注意

- 必ず水道水を入れてください。
  - ・一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクの水は2～3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。  
長時間使わないときは、必ず水タンクの水を捨ててください。
- お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。
- 以下のような水は水タンクに入れしないでください。
  - ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
  - ・40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- 本体の移動は、水タンクから水を抜いてください。床が漏れる原因になります。
- 排水のための移動は、内部の水がこぼれないように、ゆっくり本体を移動してください。

① 本体背面の水タンクを取り出します。

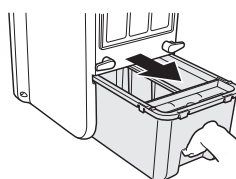
② 水タンクの水位表示を確認しながらゆっくりと水を水タンクへ入れます。

※ 水タンクの最大容量は4.5Lです。

※ 水位確認窓の水位が「MIN」より低いと、タンクの水を吸い上げることができません。「MAX」と「MIN」の範囲内におさまるように水を入れてください。

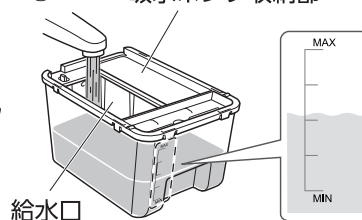
③ 水タンクを本体に奥までしっかりと取り付けます。

①



②

吸水ポンプ収納部



## 保冷タンクや氷を使う(涼風モードのみ)



### 警告

- 保冷タンク・氷は必ず「給水口」に入れてください。
  - ※「吸水ポンプ収納部」に入れると吸水ポンプに保冷タンク・氷が引っかかり、水タンクが取り出せなくなる場合があります。
- 保冷タンクのふたを開けないでください。  
皮膚に付いた場合は、すぐに石けんと水で洗ってください。  
飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。  
目に入った場合は、すぐに水で洗い異常があったときは医師の診断を受けてください。
- 氷を入れすぎると水タンクに結露が起き、床をぬらすおそれがあります。  
本体の下にトレーなどを敷いて使用してください。
  - ※トレーは付属していません。

凍らせた保冷タンクや氷を水タンクに入れると、涼風効果が高まります。

① 保冷タンクを冷凍庫で凍らせます。

※ 4～5時間程度で凍ります。

② 水タンク給水口に保冷タンクまたは氷を入れてから水を入れます。

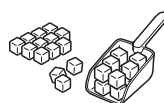
※ 水タンクに水が入っている場合は、水を排水してから保冷タンクまたは氷を入れてください。

※ 保冷タンクの効果がなくなったら、再度冷凍庫で凍らせます。(保冷タンクは繰り返し使用できます。)

先に給水口に入れる

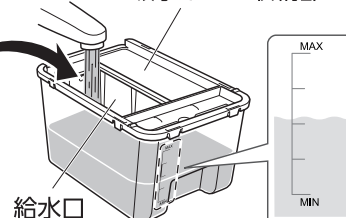
保冷タンク

氷



②

吸水ポンプ収納部



# ご使用方法

## 運転する(涼風モード)

### 注意

- 涼風モードをご使用前に、背面の吸水フィルターが背面カバーにしっかりとハマっているか確認してください。
- 吸水フィルターがずれていると、そのすき間や前方の送風口から水が飛散する場合があります。
- 涼風運転中は部屋の窓を開けて行ってください。
- 閉め切った室内で長時間使用すると、涼風にならないことがあります。
- 室温や湿度変化により（保冷剤や氷を使わなくても）水タンク内の水で本体に結露が発生する場合があります。
- 柔らかい布などで本体の結露を拭き取ってください。
- 本体の下にトレーなどを敷いて使用してください。※トレーは付属していません。

送風運転中に本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って涼風運転を開始し、同時に本体の『涼風/加湿』ランプが点灯します。

※ 涼風モード使用時は、水を吸い上げるためのポンプやチューブが作動しているため、水を吸い上げる音（キュルキュル音、キュー音）がしますが、不良や異常ではありませんので、そのままご使用ください。

※ 水タンクに水が入っていない時に『涼風/加湿』ボタンを押すと、警告音が鳴って『涼風/加湿』ランプが点滅します。再度『涼風/加湿』ボタンを押すと消灯します。

水タンクの水が水位表示の「MIN」を下回ったら給水してください。

[本体]



[リモコン]



## 運転する(温風モード)

送風運転中に本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って温風運転を開始し、同時に本体の『ヒーター』ランプが点灯します。

[本体]



[リモコン]



## ヒーターを調節する(温風モード)

ヒーター調節は強・弱の2段階に設定できます。

温風運転中に本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。

温風モードから送風モードへの切り替えは、『ヒーター』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、「ヒーター弱」→「ヒーター強」→「送風弱」の順に切り替わります。

※ 温風モードから送風モードに切り替えても、直ちに送風が開始されることはなく、温風吹き出しユニット機構が元の位置に戻るまで送風は開始されません。故障ではありませんので、そのままご使用ください。

※ 温風モード時は風量の切り替えはできません。

[本体]



[リモコン]



## 運転する(温風加湿モード)

温風運転中に本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押します。

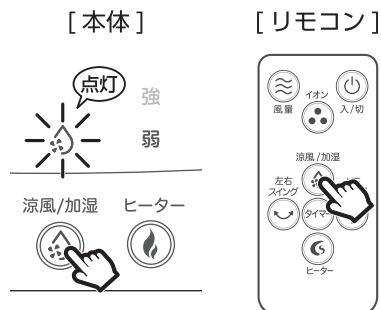
“ピッ”と電子音が鳴って温風加湿運転を開始し、同時に本体の『涼風/加湿』ランプが点灯します。

※ 温風加湿モード使用時は、水を吸い上げるためのポンプやチューブが作動しているため、水を吸い上げる音(キュルキュル音、キュー音)がしますが、不良や異常ではありませんので、そのままご使用ください。

※ 水タンクに水が入っていない時に『涼風/加湿』ボタンを押すと、警告音が鳴って「涼風/加湿ランプ」が点滅します。再度『涼風/加湿』ボタンを押すと消灯します。

※ 加湿方式は気化式のためミストは出ません。

水タンクの水が水位表示の「MIN」を下回ったら給水してください。

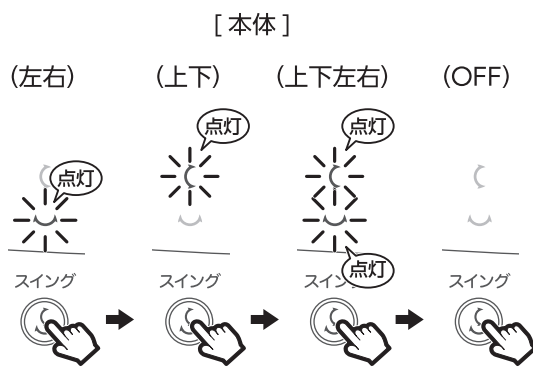


## 風の向きを変える(スイング)

### ■ 本体操作の場合

運転中に本体の『スイング』ボタンを押します。

『スイング』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、「左右スイング」→「上下スイング」→「上下左右スイング」→「スイング停止」の順にスイングが切り替わります。



### ■ リモコン操作の場合

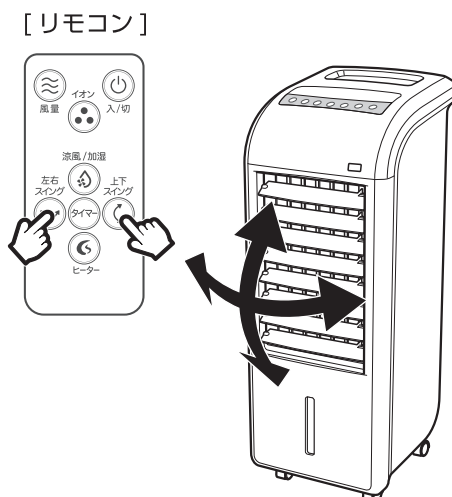
運転中にリモコンの『左右スイング』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴り、左右にスイングします。

また『上下スイング』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴り、上下にスイングします。

『左右スイング』と『上下スイング』ボタンを続けて押すと、上下左右にスイングします。

スイング中にスイングを停止させたい方向のスイングボタンを押すと、スイングが停止します。

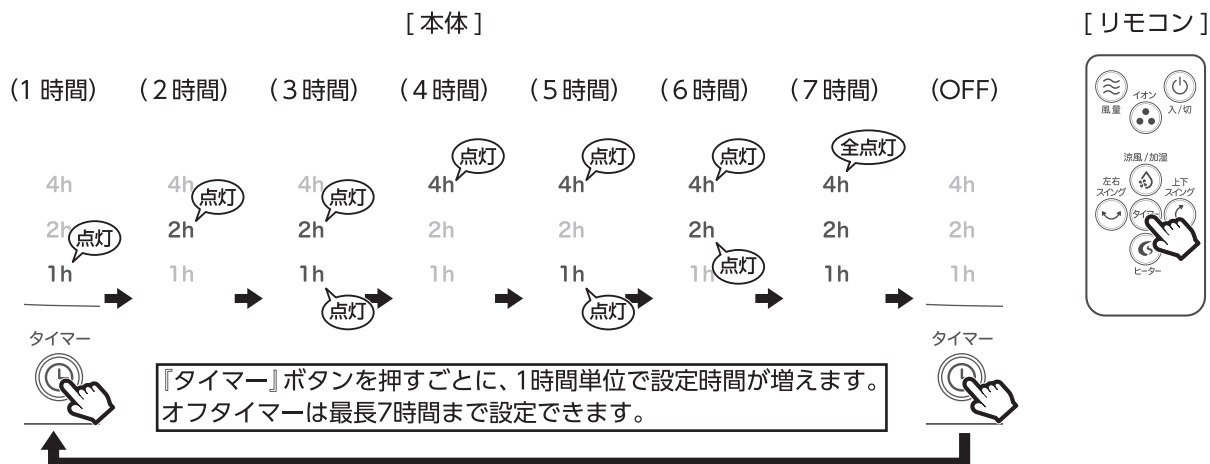
※ 手動でルーバーの角度調節をしないでください。



# ご使用方法

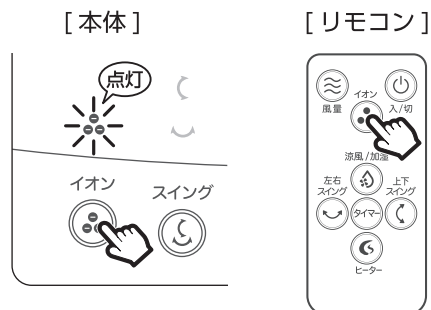
## オフタイマーを使う

運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。  
ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、設定時間が切り替わります。



## イオン運転する

運転中に本体またはリモコンの『イオン』ボタンを押すと、  
“ピッ”と電子音が鳴ってマイナスイオンが発生します。  
同時に本体の『イオン』ランプが点灯します。



## お手入れ



### 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電やケガの原因になります。



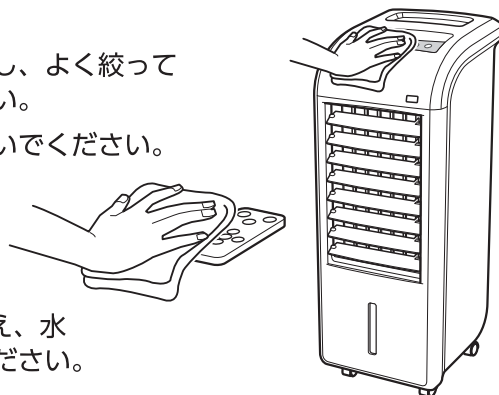
### 注意

本体に水をかけないでください。感電・ケガ・故障の原因になります。

### ■ 本体・リモコンのお手入れ

本体の汚れは柔らかい布をぬるま湯か薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。その後乾いた布で拭いてください。

- シンナーやベンジン、アルコールなどでお手入れはしないでください。
- お手入れの後は、本体が乾いてからご使用ください。



### ■ 水タンクのお手入れ

水タンクの水は、2～3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

- 風呂場など、排水してもよい場所で行なってください。

### ■ フィルターのお手入れ

①背面カバーのツメ(2箇所)を押し下げながら手前に引いて、背面カバーを取り外します。

②吸水フィルターユニットの引き手部分に指を掛けて手前に引き、吸水フィルターユニットを取り外します。

③吸水フィルターユニット背面のツメが吸水フィルターから外れるように横に広げ、吸水フィルターを取り外します。

※無理な力で外そうとすると吸水フィルターユニット、吸水フィルターを壊してしまうおそれがありますので、ご注意ください。

※傷みがひどい、におい・汚れが取れない場合は吸水フィルターの交換が必要です。ゼンケンサービス係までご相談ください。

※涼風モード、温風加湿モードで運転した後は吸水フィルターに水がたまっています。風呂場などぬれてもよい場所で取り外してください。

④吸水フィルターを水洗いして、しっかりと乾燥させます。

⑤防塵フィルターのほこりは、掃除機で吸い取ります。

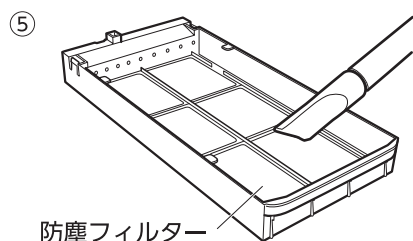
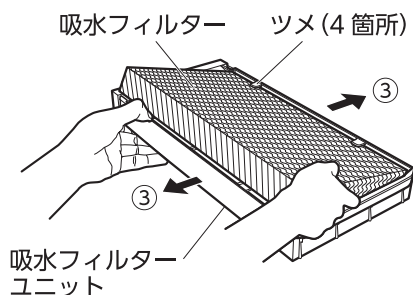
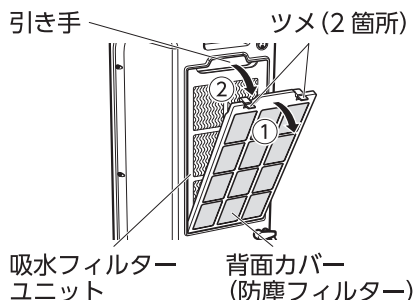
⑥背面のツメが吸水フィルターに引っ掛からないように吸水フィルターユニットを横に広げ、吸水フィルターを取り付けます。

⑦吸水フィルターユニットと背面カバーを本体に取り付けます。

※背面カバーはツメが「カチッ」と音がするまで、奥までしっかりと閉めてください。

※本機の性能を維持するため、1か月に1回は防塵フィルターと吸水フィルターのお手入れを行ってください。

※長期間使用しない場合はお手入れをした後、1～2時間のカラ運転(風量「強」、涼風/加湿「切」)をして内部を乾燥させてください。(カビなどの発生を防ぎます。)



## ■ 保管方法

お手入れのあと、各部の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。

湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。

お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ない所に保管してください。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	処理
運転しない	●電源プラグが外れている。	●電源プラグをコンセントに接続してください。
運転が停止した	●オフタイマーを設定している。	●オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定をOFFにするか設定を変更してください。
電源を切っても停止しない	●温風運転直後は、ヒーターの冷却のため約60秒送風が続きます。	●故障ではありません
リモコンで動作しない	●電源(入・切)ボタンを押していない。 ●リモコン電池が消耗している。 ●電池の入れかた(⊕/⊖)が間違っている。 ●本体の受光部にリモコンを向けていない。 ●または障害物がある。	●電源(入・切)ボタンを押してください。 ●リモコン電池を交換してください。 ●電池を正しく入れ直してください。 ●障害物を取り除き、リモコンを本体に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。
涼風(温風加湿)モードが作動しない	●涼風(温風加湿)モードがOFFになっている。 ●水タンクの水が無くなっている。 ●防塵フィルター、吸水フィルターが汚れている。	●涼風(温風加湿)運転をONにしてください。 ●水タンクに給水してください。 ●防塵フィルター、吸水フィルターを掃除してください。
臭いがする	●水タンク内の水を取り替えていない。 ●防塵フィルター、吸水フィルターが汚れている。 ●水タンク内が汚れている。	●水タンク内の水は定期的に入れ替えてください。 ●防塵フィルター、吸水フィルターを掃除してください。 ●水タンク内を掃除してください。
水が漏れる	●吸水フィルターの取り付けがずれている。 ●水タンク内の水量が多すぎる。	●吸水フィルターを正しく取り付けてください。 ●水タンク内の水量を適正な状態にしてください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、ゼンケンサービス係までご連絡ください。

# 保証・サービス

## 保証規定

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から下記保証期間中に、取扱説明書、本体表示その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、無料修理いたしますので、商品と本保証書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - お買い上げの後の落下、引越し輸送等による故障または損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
  - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  - 本書とお買い上げ明細書の提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、取扱販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 消耗品の交換など
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料は、場合によってはお客様のご負担となることがあります。
- ご贈答品等で本書に記入しているお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、ゼンケンサービス係までお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明な場合は、ゼンケンサービス係までお問い合わせください。

## ご相談窓口

お問い合わせ先

お買い上げ販売店

お問い合わせ先

ゼンケンサービス係  0120-135232

受付時間

AM9:00 ~ PM5:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの場合は次のことをご知らせください。

①製品名 ②お買い上げ販売店 ③お買い上げの年月日 ④製品の状況  
補修部品について：製造打切り後 6 年間保有されます。

**注意**

[譲渡の場合] 本品を他人に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も一緒にお渡しください。  
[廃棄の場合] 廃棄の際は、お住まいの市町村などの注意をお守りください。